

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 5月 31日

事業所名 オルタナティブハウスわがや

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1			法令等に遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	2	1	1	送迎時に施設に残る職員の数が足りないと思う	法令で必要とされる職員数を配置していますが、送迎等で活動が途切れてしまうことがありました。工夫していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	1	バリアフリー化されていないため、階段の数を減らし車いすでも昇降できるようなものにするべき。施設まで段差がある。	通っている子どもたちのニーズに合わせ整備していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2			毎日ミーティングを行い振り返りを行っています。PDCAを意識していきましょう。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3		全体にアンケートを取るのが初めてで、活用していない。	集まった評価表や意見を皆で検討し、業務改善に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1	1		学校法人めばえ学園のホームページで公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	1		今後必要に応じて導入を検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		コロナ禍の為研修の参加は難しい。計画はあるがコロナの影響で延期されている。	今年はコロナの影響で行っていませんが、落ち着けば研修に参加していきましょう。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			保護者とのモニタリングや職員間のミーティングをした上で計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		1		アセスメントシートを利用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		職員が集まり話す時間が少ない。	職員ミーティングで話し合いの上で立案しています。集中して話し合えるように連絡を密にしていきたいと思います。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			天候や季節、通所児童の状態に合わせ活動内容を決めている	継続していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			天候や季節、通所児童の状態に合わせ活動内容を決めている	継続していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		天候や人数に影響されるので、臨機応変に対応している	継続していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			事前に話すが、実際は通所してきた児童の状態を優先している	通所してきた子の気持ちに寄り添い、打ち合わせと違って出来る事には対応していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			注意すべき事項を報告しあい共有し、次の日につなげている。	振り返りと個人記録を日々職員間で共有し、次の日に対応できるよう連携しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				一人一人、日々の記録をとり、職員間で共有し、改善への話し合いをしています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				6か月ごとに評価、モニタリングをし、それを元に職員間での話し合い後、新たな個別支援計画を作成しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	1			基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		できるだけ担当の児童指導員が参画できるようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	保護者からの情報をもとにしている。	事業所での出席や活動記録をレポートで伝え学校の出席数にカウントしてもらったり、保護者からの情報をもとに学校との連携を図り情報交換をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	1		現在受け入れていませんが、今後必要に応じて整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2		系列の幼稚園・保育園に在籍していた子供は、以前の過ごし方などをある程度把握している。	系列の幼稚園・保育園に在籍していた子は各学年・卒園時の担任から聞くなどして把握しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		まだ該当者がいない	まだ該当者がいないのでやっていませんが、今後は提供できる用意をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		コロナの影響で今年は研修に参加していませんが、発達支援センター等との連携は必要に応じてとっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	1	立地的に他所と遠いため	物語などの文化活動をしている団体と交流するつもりでしたがコロナの影響で今はやっていません。職員や幼稚園関係者の子どもや兄弟と少しだけ交流しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	1	コロナ禍の為あまり積極的に動けていない。	コロナの影響で今年は参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				送迎時などに日々の状況を伝え合い、対応などを話し合っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	1		職員がペアレント・トレーニングの研修に参加して対応の質をあげていきたいができませんでした。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1			契約時に利用についての詳細を説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			いつでも話を受けるようにしている	送迎時など保護者が話したい時にはいつでも聞く態勢を整え、一緒に考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		研修会や羊の毛刈りなど保護者と集まる時間を作っている。お迎え時など保護者同士の交流の場として提供している。	お花見や芋煮会などを企画していましたができませんでした。来年はしていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			職員間で話し合い対処や対策を考え対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		主に写真のみ。行事も天候や動物の状態によるので、直前にならないと決められない	写真で活動の様子を配信しています。行事予定や連絡事項も配信しています。
	35	個人情報に十分注意している	1	3		写真の扱いなど、個々に判断基準が違い課題がある	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	1	現状コロナ禍の為地域の方を招待できていない。	お花見や芋煮会などを企画していましたができませんでした。来年はしていきたいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		2	2		各種マニュアルを掲示し、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3	1	登所の曜日が別々なので曜日別の訓練を行っていく必要がある。	曜日別に訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		2	1	コロナの影響でできていない。	職員研修などに参加していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		2	1		職員間で話し合い対処や対策を考え対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		保護者の自己申告によるものを頼りにしている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	1	1	作成する必要あり。フォーマット作成など。話を共有しているがまとめてはいない。	フォーマットを作成したので、共有していきます。